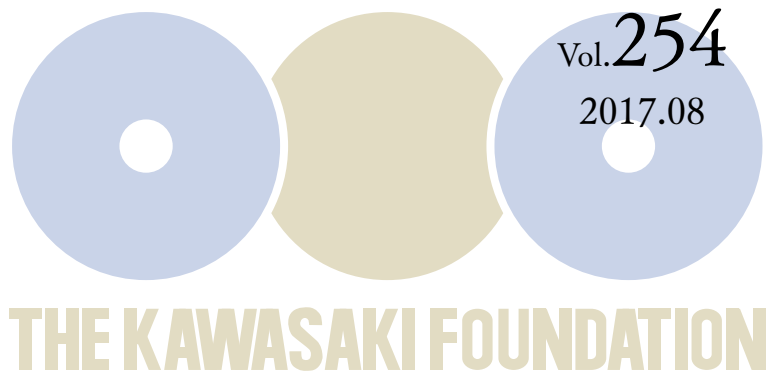


公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌

かわさき アートニュース



Vol.254
2017.08



CONTENTS[目次]

02 | 特集

川崎市アートセンター開館10周年記念事業
しんゆりシアターミュージカル公演
「ねこはしる」

インタビュー／ふじたあさやさん(劇作家・演出家)

04 | 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

10 | 美術

市内ギャラリー情報

13 | 演劇

アルテリオ小劇場

14 | 映画

アルテリオ映像館

地域に根差す文化・芸術の発信地
川崎市アートセンター開館10周年!



地域に根差す文化・芸術の発信地 川崎市アートセンター開館10周年!

昭和音楽大学ミュージカル
「ねこはしる」
2011年4月公演より



川崎市アートセンター開館10周年記念事業 しんゆりシアターミュージカル公演「ねこはしる」

インタビュー／ふじた あさやさん(劇作家・演出家)

川崎市アートセンターは、小田急線「新百合ヶ丘」駅前に川崎市北部の文化振興の拠点として2007年10月31日にオープンしました。「アルテリオ小劇場」と「アルテリオ映像館」という二つの施設を備え、芸術文化に関する豊かな地域資源を持つ新百合ヶ丘駅周辺地域をより一層活力のあるまちにするため、これまで行われてきた芸術のまちづくりを継承し、発展させることを基本理念としています。

開館10周年を迎える今年度、様々な記念事業が行われる予定です。その一つとして、新百合ヶ丘の地で長年愛されてきたミュージカル『ねこはしる』を10月に上演します。

初演からこの作品を手掛け、今回も脚本・演出を務めるふじたあさやさんに、この作品の魅力と記念公演にかける思いを伺いました。

新百合ヶ丘で生まれた作品

—— ミュージカル『ねこはしる』についてお聞かせください。

詩人で童話作家の工藤直子さんの作品に『のはらうた』という素敵な詩集があるのですが、その詩集をもとに脚本を書いたことがあり、同じく工藤さんの作品である『ねこはしる』も気になっていました。

ある時、『ねこはしる』を原作のままお芝居にした公演を見て、これはミュージカルに出来ると思い、2003年に昭和音楽芸術学院ミュージカル科の卒業公演でやったのが最初です。その後またたび再演を重ねてきました。

川崎市アートセンターでは、今まで様々なミュージカル作品を上演してきましたが、この新百合ヶ丘で生まれた『ねこはしる』を、10周年の節目にもう一つ発展させたいとお話をいただきました。そこで今回は広く呼びかけてオーディションを行い、新しいメンバーを迎えました。

劇団四季に所属していた方や、東宝ミュージカルに出演している方、以前に『ねこはしる』で主役を演じた役者も何人かいます。出演して何年も経っていても、この作品をやることになると、また演じたいと皆が言ってくれるんですよ。

ほのぼのした話の裏にある深さ

—— 役者たちも惹かれるこの作品の魅力は？

この作品は、登場する色んな動物たちが、実に生き生きとしています。その主人公たちが住んでいる野原の世界のお話で、人間は出てきませんが、観終わってみると実は人間のことを描いているのだと分かる、大変よくできた寓話です。

まったく童話的な世界ですけども、ほのぼのとした感じかなと思って見ていると、衝撃を受けるような深い内容の話です。そこがこの作品の魅力でしょうね。

『ねこはしる』の「はしる」は、永遠に向かって走っていくという、そんな意味が込められているのです。

音楽も全てオリジナルで、昭和音楽大学で教鞭をとり、地元の市民コーラス団体「あさおポップコーラス」を主宰されている西村勝行さんに、初演から手掛けてもらっています。西村さんはミュージカルの分野に多くのキャリアがある方で、実に的確な音楽をつけてくださいます。毎回公演ごとにアレンジを加えてきましたが、今回も役者に合わせて新たな一面が加わる予定で、本番の音楽は全て生演奏です。

命について考える

—— どんな方にご覧頂きたいですか？

子どもから大人まで多くの方に観ていただきたいですね。子ども向けの作品ですから、もちろんお子さんに楽しんでいただけますが、「これが子ども向けの作品？」と思うくらい内容は深いです。子どもと一緒に観て、命について語りあうことができるような、そういう作品です。

そして、演劇はライブですから毎回必ず違います。昨日観た舞台より今日観た舞台の方がきっと良い。時には失敗したということも勿論ありますけれども、それはそれで魅力なんですよ。そして音楽も、録音でやったのではライブの面白さが伝わらない。やっぱり演奏も含めて、「今日はなにか違うぞ」という雰囲気が必要です。だから、何回も観に来ていただきたいですね。実際に、公演に何回も足を運んでくれるリピーターも多いんですよ。

和製ミュージカルの良さ

—— この作品にける意気込みをお聞かせください。

この地で生まれた『ねこはしる』ですが、川崎市アートセンターでの上演は初めてです。



ふじた あさや プロフィール

東京生まれの疎開世代。早稲田大学演劇専修在学中に福田善之と『富士山麓』を合作。放送作家を経て劇団三十人会を皮切りに劇作家・演出家として活躍。日本演出家協会理事長をはじめ、芸団協・日本劇団協議会・日本劇作家協会・児童協など演劇関係団体の役員、昭和音楽大学特任教授を歴任。現在、アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)日本センター会長。NPO法人KAWASAKIアーツ理事長。平成18年度川崎市文化賞受賞。劇団わが町芸術監督。



ミュージカルワークショップ 2016年8月発表会より

やはり、芝居でもミュージカルでも、ここに来れば良い作品が必ず観られるという劇場にしたいですから、この繰り返し上演してきた『ねこはしる』が、ランクアップしたところを見てほしいですね。

また、和製のミュージカルこそが実はミュージカルのあるべき姿なのだとということも見せたいと思います。ミュージカルというと、まだまだブロードウェイの作品が主流ですね。しかし、海外の楽曲に日本語を無理して当てはめるとアクセントが変わってしまい、台詞の意味が分からなくなってしまう。これは明治以来、日本に洋楽が入ってきた時からずっと未解決の問題です。

この作品はオリジナルですから、日本語に合わせて音楽が作られているので、台詞が自然に聞こえます。日本語の美しさを伝えられる和製ミュージカルは、絶対に必要なのです。

地域の劇場を目指して

—— アルテリオ小劇場の10年を振り返っていかがですか。

川崎市アートセンターには、開館する前の設計段階から関わっています。

こういう地域に劇場があることの意味を問いながら、リージョナルシアター（地域劇場）を目指してきました。劇場をただの箱ではなく、活かすためにはどうしたらよいのかを皆で考えながらの10年だったと思います。

世界では、劇場＝建物ではありません。「劇場」と言った瞬間に、そこに劇団があり、オーケストラがあり、たくさんの方がいて、教育的機能もある。そういう機能自体を「劇場」と呼ぶんですね。日本だけは、劇場というと建物のことを指します。これが、決定的に日本が世界から遅れているところなんです。

劇場を常時拠点として使い、人も育てる。同時に、地域の人たちに観てもらいたいものを発信していく機能を持った劇場となることを目指して、市民劇団「劇団わが町」を旗揚げし、ミュージカルや芝居など様々な企画を立てて毎年積み重ねてきました。

「創造の場」と「芸術鑑賞の場」という両輪

—— この劇場の今後について、どのようにお考えですか？

今後も、この劇場はプロフェッショナルが演じる良い作品を観ていただくと同時に、地元の人たちの歌やダンスなども含めた演劇活動を支える空間でなくてはと思っています。



「わが町しんゆり」2012年6月公演より

地域の人たちは、ここで活動し、観客としても良い物を観て育っていく。良い公演を観ると、自分たちも演じたくなるんですね。その両輪を上手く繋げていく場としてこの劇場が機能するように、これからも探っていくてほしいです。

この10年で、明らかにお客さんが育ってきています。これまで新宿や都内の催しを観に行っていた方々が、「地元で活発に活動が出来る」「地元で良い物が観られる」と、喜びの声を聞かせてくれますので、その声に支えながらやっています。

演劇のもつ力

—— 演劇の可能性についてお聞かせください。

子どもは学校だけでなく、劇場でも育ちます。「劇団わが町」には、子どもも在籍していますが、僕は子ども扱いしません。「どういう風にやってみたい？」と聞いて自分の意志で表現を決めていくことをやらせています。すると「ここは私の居場所なんだ」と思い始める。そうすると、子どもでも大人でも、人間が変わるんですよ。

演劇は、役者だけでなく観客も変えます。芝居を観ていると、「私だったらあんなことしないのに」とか「よく決意してくれた!」と、その登場人物の身になって考え、観客自身の心が動きますね。人を変えるだけの力が、演劇にはあるのです。

演劇の未来

アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)という、子どものための演劇を作っている世界の組織があり、私はその日本センターの代表も務めています。世界と手をつなぎながら、子どもたちに見せる演劇のレベルアップを図っています。その大会が、ついこの間南アフリカのケープタウンであり、29時間飛行機に乗って行ってきました。

この活動で出会った演劇をまもなく川崎市アートセンターで上演します。7/25(火)に「Mr.バンクの魔法のガラタ〜石、棒、折れた骨〜」(オーストラリア)、8/1(火)に「アナのはじめての冒険」(チリ)がやってきます。ノンバーバル(言葉を使わない表現)なので子どもから大人まで楽しめる演劇です。

東京オリンピックの年には、そのアシテジの大会を日本でやることになりました。大変なことですが、世界の演劇を数多く観ていただけのチャンスだと思い、今から楽しみです。

取材日 2017.6.16

公演概要

Information

川崎市アートセンター開館10周年記念事業
しんゆりシアターミュージカル公演

「ねこはしる」

原作：工藤直子

脚本・演出：ふじたあさや

音楽：西村勝行

日程：10/14(土)～22(日)

	13:00	14:00	17:00	19:00
14(土)				
15(日)		●	●	
16(月)		休	演	
17(火)				●
18(水)		●		
19(木)		休	演	
20(金)				●
21(土)	●		●	
22(日)		●		

会場：川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

(小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より
徒歩3分)

チケット：一般 3,800円

中・高・大学生 2,500円

小学生以下 1,000円

(全席指定・税込)

【発売日】2017年8月を予定

チケット取扱い先：

川崎市アートセンター

[tel] 044-959-2255

(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[web] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00～19:30

(原則毎月第二月曜除く)

お問い合わせ先：

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

[tel] 044-955-0107

[web] <http://kawasaki-ac.jp/>

主催 ● 川崎市アートセンター 協力 ● 昭和音楽大学

「ねこはしる」あらすじ

ランは小さな黒い毛の子猫。何をしてものろまでドジっ子。でも気持ちは優しく、いつしか池の魚と仲良しになり、2人の心は寄り添うようになる。

ところがある日、魚はランの兄弟猫に見つかり、魚とり競争が始まる。魚はランに「どうせなら君に食べられたい。でも手加減しないよ!」と言う。そしてランは……。

市民劇団「劇団わが町」とは…

2012年6月に生まれたゆるやかな劇団。劇団員は地域住民総勢45名。年齢制限はなく、9～76歳までのメンバーが所属。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行っている。



2017年3月公演より



2017年9月16日(土)
19:00開演(18:30開場)

●¥3,000 ●¥2,000

【曲 目】

J.S.バッハ:ピース・ドルグト長調 BWV 572

ラモー/レヒシュタイナー:

歌劇「インドの優雅な国々」から

「序曲」「優しい愛、人の声」「未開人の踊り」

メシアン:「オルガンの書」から「鳥たちの歌」

J.S.バッハ:パッサカリア ハ短調 BWV 582 他

ハンス＝オラ・エリクソン パイプオルガン・リサイタル

「早熟の奇才」から「教授」へ、そして、変わらず「自由な音楽人」
～ハンス＝オラ・エリクソンの素顔～

我が友ハンス＝オラ

ドイツの音大に留学してレッスンが始まったころ、私の前にレッスンを受ける金髪色白で小太りの、愛嬌のあるキューピー人形のような快活な「男の子」がいた。日本的な師弟関係の風土しか知らず、しかもまだドイツ語がおぼつかなかった私には、先生と対等に論じているその学生は驚嘆の的だったが、やがて彼が音大でも特別な存在なことが解ってくる。スウェーデンからやってきたこの青年は、すでに気鋭の作曲家として頭角を現しており、音大では作曲科とオルガン科に籍を置く有名人で、しかもホルンを吹く年上の妻がいる早熟の奇才だったのだ。

しかし、素顔の彼は実に気さくで、私たちはけっこう気が合った。クラスで飲みに行くと愛用の嗅ぎたばこを試させてくれたり、学内コンサートでバッハの大きな作品を素晴らしい演奏した後、練習でぼろぼろになったオルガンシューズを橋の上から川に投げ込んだり、スウェーデンに帰る時の盛大なさよならパーティーの大騒ぎなど、活き活きとした好青年の姿が、柔らかく歌うようなスウェーデン訛りと共に思い出される。

その彼も今やヒゲもいかめしい「エリクソン教授」になったが、私の中では今でも、ほがらかで自由な音楽人「ハンス＝オラ」である。久しぶりにあの素晴らしい演奏を聴くのを楽しみにしている。

松居直美(オルガニスト/ミューザ川崎シンフォニーホール ホールアドバイザー)

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第129回

弟子・佐藤友紀が語る

名トランペット奏者 マティアス・ヘフス

～「トランペットを吹く」のではなく、

「音楽を奏でる」スーパープレイヤーです～

世界の名だたるトランペット奏者たちが、神様のように崇拜するスーパープレイヤー。マティアス・ヘフス先生は、世界最高峰のトランペット奏者です。抜群のテクニックと素晴らしい音色だけでなく、音楽的にも様々な引き出しを持っています。レパートリーはトランペットの曲のみにとどまらず、木管楽器のソロの曲などなんでも演奏してしまうので、その姿は「トランペットを吹く」というよりもまさに「音楽を奏でる」アーティスト。人柄も素晴らしく、それが彼の音色にすべて表れています。

私はハンブルク音楽大学に3年間留学し、ヘフス先生に学びました。一緒に楽器を吹いて食事をし、練習や本番から多くのことを学びました。2014年には一緒にアルバムも録音しましたが、今も私は彼の大きな背中を追いかけています。

最近のヘフス先生は、オーソドックスな作品はもちろんのこと、作曲家と連携して自分の表現したいことを作品にしてもらうという、彼ならではの活動を展開しています。そのパートナーがケルシェック。彼はヘフス先生の魅力を最大限に引き出す曲をいくつも書いていて、2016年に世界初演されたばかりの「ラッパ達が鳴り響く」もそのひとつです。ケルシェックの作品はヘフス先生でないと演奏できない難しいパッセージが満載で、「ラッパ達が鳴り響く」は客席で吹く9名のバンダ(別働隊)への要求も高そうです。私たちにとても大きな挑戦となることでしょう。

佐藤友紀(東京交響楽団 首席トランペット奏者)



ヘルマン・ボイマー



マティアス・ヘフス

2017年9月23日(土・祝) 14:00開演(13:30開場)

●¥6,000 ●¥5,000 ●¥4,000 ●¥3,000

【出 演】

指揮:ヘルマン・ボイマー

トランペット:マティアス・ヘフス

【曲 目】

ドヴォルザーク:交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

ケルシェック:ラッパ達が鳴り響く(日本初演)

ヤナーチェク:シンフォニエッタ

お問合せ ●ミューザ川崎シンフォニーホール [Tel]044-520-0200(10:00～18:00)[チケットカウンター]10:00～19:00)

[Web]ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/> ミューザ

ミューザ川崎市民交響楽祭2017

2017年8月27日(日) 14:00開演(13:15開場)

●¥1,500 ●¥1,000

【出 演】

指揮:横島 勝人 管弦楽:かわさき市民オーケストラ2017

【曲 目】

チャイコフスキー:「眠れる森の美女」組曲 マーラー:交響曲第5番

[お問合せ]ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

宮前フィルハーモニー交響楽団 044-870-7187(平日9:00～18:00)

小川典子ピアノ・リサイタル

Noriko Ogawa Piano Recital

デビュー30周年記念演奏会～日本と英国の架け橋～

2017. **10.21(土)** Saturday, October 21st, 2017

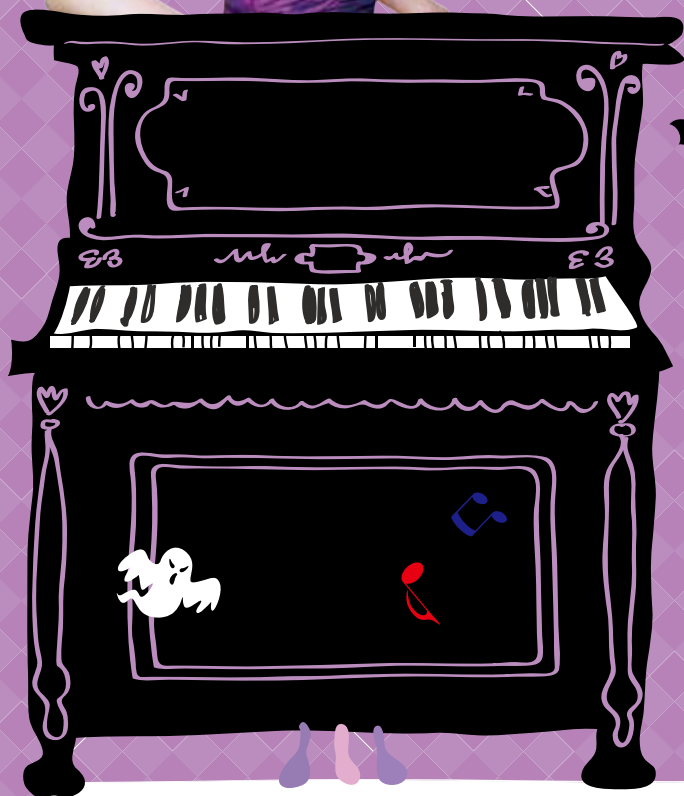
14:00 開演 13:00開場 Starts at 14:00 (Doors open at 13:00)

終演予定: 16:00、アンコール・コンサートの終演は17:00頃の予定

会場: ミューザ川崎シンフォニーホール (JR「川崎」駅西口直結)

Venue: MUZA Kawasaki Symphony Hall

©A. Muto



ベートーヴェン: 英国国歌

「ゴッド・セイヴ・ザ・キング」による
7つの変奏曲 WoO 78

Beethoven: 7 Variations on "God Save the King", WoO 78

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番

ヘ短調 作品57「熱情」

Beethoven: Piano Sonata No. 23 in f minor, Op. 57 "Appassionata"

山根明季子: イルミネイテッドベイビー

(第9回浜松国際ピアノコンクール課題曲)

Akiko Yamane: Illuminated Baby

リスト: ピアノ・ソナタ ロ短調

Liszt: Piano Sonata in b minor



13:15～13:40

山根明季子 & 小川典子によるプレトーク

Pre-concert talk starts at 13:15 (25mins)

ゲスト出演: 山根明季子 (作曲家)

デビューの契機となったリーズ国際コンクール入賞から30年、コンクールの出場者だった小川典子は、いま「蜜蜂と遠雷」で話題沸騰の第10回浜松国際ピアノコンクール審査委員長に就任。思いをあらたに英国国歌の旋律をテーマにしたベートーヴェンの変奏曲や、「第9回浜松国際ピアノコンクール」の第二次審査課題曲を取り上げる。ゲストは課題曲の作曲者、山根明季子。コンクール体験談、英国と日本の架け橋を担う小川典子の、入賞30周年記念リサイタル&対談会にご注目ください。



アンコール・コンサート

～アマチュア・ピアニストたちによる～

小川典子がハロウィーン・コスチュームでご案内!
公開レッスンを受講したアマチュアピアニストたちが
成果を披露します。

★アンコール・コンサート終了後、ホール2階のホワイエにて、
ハロウィーン懇親会を開催します。



昨年のアンコール・コンサート



昨年の懇親会

チケット料金 (1ドリンク付)

★全席指定4,000円 ★学生券 (25歳以下の学生) 1,500円 (※学生券は、ミューザのチケットカウンターと電話予約のみ)



アンコール・コンサート出演者募集!

(応募締切: 8月24日(木) 必着)



プレ企画

10/1の公開レッスン聴講生を募集しています

(応募締切: 9月12日(火) 消印有効)

応募方法及び詳細は、
ミューザ川崎シンフォニーホールの
ホームページをご覧ください。

お問合せ・お申込み

ミューザ川崎シンフォニーホール

[Tel] 044-520-0200 (10:00～18:00) [チケットカウンター] (10:00～19:00)

[Web] ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/>



音楽のまちかわさき

MUZA
KAWASAKI

SYMPHONY HALL

フェスタサマーミューザ KAWASAKI 2017	主催公演	1 火	読売日本交響楽団	指揮:渡辺俊幸 スペシャル・ゲスト:森山良子 ♪「サウンド・オブ・ミュージック」～メインテーマ / この広い野原いっぱい / 涙そうそう 他
		15:00		
		3 木	かわさきジュニアオーケストラ発表会 こどもフェスタ	指揮:江上孝則 独奏:山口ゆらら(ジュニアオーケストラ選抜メンバー) 司会:山田美也子 ♪チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」から 他
		13:30		
		4 金	久石譲 & 新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ 特別参加	指揮:ピアノ:久石 譲 ナレーター:養老孟司(解剖学者) ♪久石 譲:View of Silence / 久石 譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」 他
		19:00		お問合せ:サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 完売御礼
		5 土	イツ・ア・ピアノワールド こどもフェスタ	ピアノ:小川典子 ♪モーツァルト:トルコ行進曲 / プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第7番から第3楽章 / リスト:ラ・カンパネラ 他
		11:00		
		5 土	真夏のバッハⅡ	パイプオルガン:富田一樹 バロック・ヴァイオリン:若松夏美、高田あずみ バロック・アンサンブル・メンバー(バロック・ヴァイオリン:竹嶋祐子、丸山詔 ヴィオラ:秋葉美佳 チェロ:山本徹 コントラバス:今野京) ♪J.S.バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲 / ヴィヴァルディ:『四季』から 夏 他
		18:00		
7/22		6 日	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	指揮:鈴木秀美 ♪メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」/メンデルスゾーン:交響曲第4番「イタリア」/ハイドン:交響曲第104番「ロンドン」
		15:00		同日開催 15:00 出張サマーミューザ@しんゆり! 東京交響楽団 会場:昭和音楽大学 テアトロ・ジーリオ・ショウワ
		8 火	東京ニューシティ管弦楽団 こどもフェスタ	指揮とお話:曾我大介 歌と語り:市原 愛(ソプラノ)、針生美智子(ソプラノ)、吉川健一(バリトン) 三人の童子:東京ネバーランド合唱団員 ♪グリンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲 / プロコフィエフ:音楽物語「ピーターと狼」(楽器紹介付き) / モーツァルト:交響曲第41番「ジュピター」から第4楽章 他
		15:00		
8/11		9 水	日本フィルハーモニー交響楽団	指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:小林美樹 ♪ドビュッシー:小組曲 / サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ / ベルリオーズ:幻想交響曲 他
		15:00		
		10 木	昭和音楽大学	指揮:園田隆一郎 ヴァイオリン:郡司菜月 ♪シャブリエ:狂詩曲「スペイン」 / ラロ:スペイン交響曲 / ラヴェル:スペイン狂詩曲 / ラヴェル:ボレロ
		18:30		
		11 金祝	東京交響楽団フィナーレコンサート	指揮:秋山和慶 ピアノ:反田恭平 ♪《オール・ラフマニノフ・プログラム》ピアノ協奏曲第3番 / 交響曲第2番 完売御礼
		15:00		
		12 土	夏祭クラシックス 2017	お問合せ:夏祭クラシックス2017実行委員会 070-5367-7352 指揮:小森康弘 オルガン:近藤 岳 ソプラノ:中山美紀 バリトン:小仁所良一 管弦楽:夏祭クラシックス2017祝祭管弦楽団 合唱:夏祭クラシックス2017合唱団 ♪サン＝サーンス:交響曲第3番「オルガン付き」/ フォーレ:レクイエムニ短調 / 宮城県民謡:斎太郎節 / クロアチア愛国歌:U BOJ 他
		14:00		
		13 日	オーケストラHA'MON 第37回定期演奏会	お問合せ:オーケストラハモン事務局 090-9819-4411 指揮:橘 直貴 ♪ストラヴィンスキー:交響的幻想曲《火花》/ ストラヴィンスキー:バレエ音楽《火の鳥》(1910版) 他
		14:00		
		19 土	音楽會 25周年記念コンサート	お問合せ:JFP事務局 080-1037-8826 指揮:高橋 敦 ソプラノ:山田英津子 管弦楽:ジャパン・フレンドシップ・フィルハーモニック ♪ブラームス:交響曲第2番 / ミュージカル「レ・ミゼラブル」より抜粋 他
		13:45		
		20 日	第18回日本フルートコンヴェンション2017 in 川崎 ファイナルコンサート	お問合せ:一般社団法人 日本フルート協会 03-3442-7420 指揮:ブノワ・フロマンジェ 室内楽:東京交響楽団 室内合唱団 ソリスト:ジュリエット・ユレロ、フェリックス・レングリ ♪プーランク:フルートソナタ(オーケストラ伴奏版) 他
		16:00		
主催公演		23 水	JXTGエネルギーPresents MUZAランチタイムコンサート8月 / JXTGエネルギーPresents MUZAナイトコンサート60 爽やかな音色“スティールパン”で世界旅行	スティールパン・アンサンブル: PAN NOTE MAGIC ランチタイムコンサート8月 ♪レイ・ホルマン:Samba de Arcata / アンダー・ザ・シー ～ディズニー映画「リトルマーメイド」より～ / J.S.バッハ:小フーガ ト短調 他
		12:10		ナイトコンサート60 ♪アメージング・グレイス / ビゼー:歌劇「カルメン」より抜粋曲 / 岡野貞一:麗月夜 / The Last Word ～世界三大カーニバルの一つ「パノラマ」より～ 他
		19:00		
主催公演		26 土	モーツァルト・マチネ 第30回	ピアノ:小菅 優(指揮なし) ♪《オール・モーツァルト・プログラム》ピアノ協奏曲 第12番イ長調 K.414(385p) / ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」
		11:00		
主催公演		27 日	ミューザ川崎市民交響楽祭 2017	お問合せ:川響お客様用ダイヤル 080-1275-1056 指揮:横島勝人 管弦楽:川崎市アマチュアオーケストラ ♪マーラー:交響曲第5番 / チャイコフスキー:「眠れる森の美女」組曲
		14:00		



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。 アクセス：JR川崎駅 徒歩約10分、京急川崎駅 徒歩約6分

「川崎宿で麦わら細工を作ろう」

川崎宿で土産物として売られていた麦わら細工の制作体験をする講座です。

日時：8月17日(木) 10時～16時 ※お弁当は各自持参をお願いします

参加費：300円(当日払い)

定員：先着40名(小学生以下の参加の場合は、保護者同伴)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

内容：●午前／麦わら細工 絵はがき作り ●午後／麦わら細工 虫かご・うま作り

応募方法：氏名・住所・電話番号を東海道かわさき宿交流館までにご連絡ください。もしくは、1階受付までお越しください。

電話：044-280-7321 FAX：044-280-7314

締切：8月15日(火)



「虫かご」



「うま」

江戸時代の粋に遊ぶ その27 「津軽三味線」－魂の音色－

解説と体験付き

日時：8月26日(土) 14時～(13時半開場)

料金：1,500円(税込)

定員：先着80名(事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：小山 慶宗(よしむね) 小山 清雄(せいゆう)



小山 慶宗

1988年生まれ

津軽三味線小山流師範

7歳より津軽三味線小山流総師範小山貢
津慶に師事。「津軽三味線 慶宗会」結成。



小山 清雄

1988年生まれ

津軽三味線小山流師範

14歳の時、津軽三味線小山流総師範小山貢
清世に師事。「津軽三味線 清雄会」結成。

企画展 歌川国貞 作 「美人東海道」

国貞が描いた東海道五十三次、通称「美人東海道」。宿場宿場の風景に、得意の美人を描いています。その背景は、主に歌川広重の保永堂版「東海道五拾三次」などを参考にしています。

国貞と広重の関係など、さまざまな説のある作品をお楽しみください。

日時：8月5日(土)～9月18日(月・祝)

9時～17時

前期／8月 5日(土)～8月27日(日)

後期／8月29日(火)～9月18日(月・祝)

料金：無料

会場：東海道かわさき宿交流館3階企画展示室

※作品保護のため展示室内の照度を調整しています。



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



第6回 川崎郷土・市民劇 「南武線誕生物語」



撮影 小池 汪

2006年に始まり、川崎の歴史や人物を取り上げてきた川崎郷土・市民劇。

今回は、開業90周年を迎えた南武線が誕生するまでの物語を上演しました。

昨年8月に公募して集まった36名の出演者たちは、51回の稽古を重ね、本番で熱演を繰り上げました。

演技を深めるためのワークショップ、南武線やアミガサ事件をテーマにしたシンポジウムも盛んに行われました。

笑いあり涙ありの壮大な物語で、踊りや歌なども交えた舞台は、連日多くの来場者でにぎわい、全5回の公演で3780名のお客様に観劇していただきました。

【お客さまの声より】

- ふだん何も考えずに乗っている南武線、誕生秘話を演劇によって知ることができて幸せでした。川崎に住む中高生にも演劇を通して郷土史を学んでほしいと思いました。(60代／女性)
- 初めて観ましたが、丁寧な劇で感動しました。川崎市の発展に尽くした先人達の偉業をよく伝えていると思います。(50代／男性)
(5月13・14日 多摩市民館、
5月19・20・21日 エボックなかはら)

第42回 川崎大師薪能



「羽衣」観世清和 撮影 前島写真店

初夏の風物詩「川崎大師薪能」を川崎大師の特設舞台で行いました。

今年は川崎大師が開創890年を迎えたことを記念して、演目も祝言性の高いものが選ばれました。

晴天に恵まれた当日。開演前に出演者による解説が行われ、「薪能法楽」、「仕舞」と続いたのち、火入れ式が行われました。薪に火が灯されてから、野村萬斎師による狂言「蝸牛」、観世流宗家の観世清和師がシテ(主役)を勤め、能「羽衣」が披露されました。

次第に暗くなっていく闇の中、かがり火に

照らされた天女の舞が美しく、満席の会場は荘厳な雰囲気になりました。

【お客さまの声より】

- 暗くなった夕闇、薪の炎の色と高貴なやさしい香りの中で、初めて薪能を鑑賞でき、感激いたしました。(60代／女性)
- 初めに解説があったのですごくわかりやすく、能が神様に奉納するものという部分もとても興味があり、また公演をみたいと思いました。初めてで今回の公演をみられたことを嬉しく思います。(40代／女性)
(5月23日 川崎大師平間寺)

「名曲全集」第128回



指揮者・井上道義がセレクトした「狂詩曲(ラプソディー)」特集。シャブリエ、リスト、エネスコの個性的な作品が披露されましたが、何といっても最後に披露された伊福部昭、外山雄三の2曲が客席を盛り上げました。日本の土俗的なリズムの狂乱は興奮ものでした！ 上野耕平が独奏を務めた「ドビュッシー：アルト・サクソフォンと管弦楽のための狂詩曲」も華をそえました。

(6月11日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

江戸の粋に遊ぶ その25 「清元(きよもと)」



江戸の粋に遊ぶシリーズ、今回は「清元」。清元榮志太夫さんと、三味線の清元雄二朗さんにお越し頂きました。

清元は、江戸時代から続く伝統の音楽です。語りというよりは「唄い物」の要素が強く、抒情的で艶っぽいのが特徴。セリフは関東弁で、あか抜けた調子なので、江戸の人々には大変人気になったとのこと。また、歌舞伎の伴奏音楽としても定着しています。

演目は、「春桜道中双六(さとのほるさくらどうちゅうすごろく)」「吉原雀(よしわらすずめ)」を披露してくださいました。

清元の体験は、仮名手本忠臣蔵の道行で有名な「お軽勘平」の一場面でした。榮志太夫さんがおっしゃったとおりに声を高くし抑揚をつけて代表者がチャレンジ。あの歌舞伎調な独特の「声」やリズムを取るの、

ちょっと難しいですが、皆さんなりきって披露してくださいました。

今回は、8月26日(土)、津軽三味線です。どうぞお楽しみに。

(6月17日 東海道かわさき宿交流館)

第60回 ラゾーナ寄席



6月の寄席は、金原亭小駒さんによる「手紙無筆」でスタート。続いて、柳家わさびさんによる「だくだく」。絵に描いた家財道具に囲まれて暮らす男の家に入った泥棒と、家主とのやり取りが楽しい噺でした。

中入後は、初音家左橋師匠による「竹の水仙」。彫刻の名手として知られた左甚五郎が主人公の噺で、貧しい身なりで酒を飲んでばかりの甚五郎と宿屋の主人とのやり取りがおかしく、会場は笑いに包まれます。最後は見事なオチでした。

トリは三遊亭小歌師匠が、先日亡くなられた三遊亭圓歌師匠の創作落語「月給日」を披露。月給日に仲間同士が馴染みの店へ行き、陽気に騒ぐ様子が楽しい話でした。

毎月第3火曜日のお楽しみ、ラゾーナ寄席。人気のお得な会員制度もありますので、是非お越しください。

(6月20日 ラゾーナ川崎プラザソル)

しんゆりジャズスクエアvol.29 野口久和 THE BIG BAND



とろけるような甘いサウンドから、つんざくハイトーン、低音びりびりの迫力サウンドまで色々な音色が楽しめる総勢17名の豪華編成のビッグバンドを迎え、川崎市アートセンター開館10周年記念公演を開催。

TAKE THE A TRAINやIN THE MOOD、SING SING SINGなど次々と名曲を披露するとともに、1曲ずつ解説を交えたトークも。満員御礼の客席からは、曲が終わるごとに大きな拍手が沸き起こり、興奮冷めやらぬまま終演を迎え、華やかな10周年のスタートを切りました。

(6月23日 アルテリオ小劇場)



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分、京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

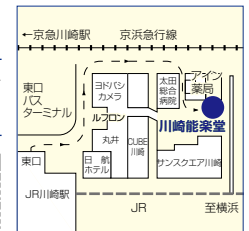
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

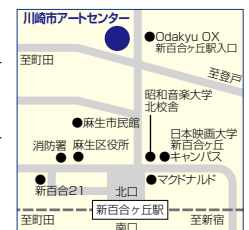
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

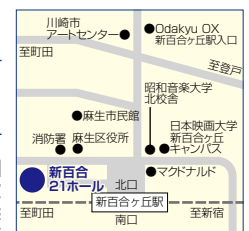
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2017.8

		1 Tue	2 Wed	3 Thu	4 Fri	5 Sat	6 Sun	7 Mon	8 Tue	9 Wed	10 Thu	11 Fri	12 Sat	13 Sun	14 Mon	15 Tue	16 Wed	17 Thu	18 Fri	19 Sat	20 Sun	21 Mon	22 Tue	23 Wed	24 Thu	25 Fri	26 Sat	27 Sun	28 Mon	29 Tue	30 Wed	31 Thu																														
アートガーデンかわさき<川崎区> 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	ノー・ウォー横浜 in 川崎展 8月1日(火)～6日(日)							國藝書道院学生展 8月8日(火)～12日(土)																第64回 日本ジュニア展 8月23日(水)～27日(日)							2017 かわさき 平和美術展 8月29日(火) ～9月3日(日)																														
	第2展示室																																																													
	第3展示室																																																													
幸市民館市民ギャラリー<幸区> 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		夏休み臨時閲覧席 ～8月7日(月)						さいわい子ども エコフェア 8月9日(水)												夏休み臨時閲覧席 ～8月31日(木)																																										
ミュージア川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】8/21(月)		第41回こども絵画コンクール 8月26日(土)																																																												
中原市民館市民ギャラリー<中原区> 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		川崎市立橘高等学校 漫画研究部夏季イラスト展 ～8月2日(水)			第25回 はり絵ポピー作品展 8月4日(金)～9日(水)					プレイ スNYG第1回展 8月11日(金・祝)～16日(水)					きらく写真展 8月18日(金)～23日(水)※21日休館					とうゆう会仲間たち展 8月25日(金)～30日(水)																																										
川崎市市民ミュージアム<中原区> 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 	企画展	●有料 からくりトリックの世界「服部正志 トリック3Dアート」展(企画展示室1)／「高橋みのる 現代からくりアート」展(企画展示室2) ～8月20日(日) 観覧料：一般500円、65歳以上・大学生・高校生400円、中学生 以下無料 ※左記料金で企画展示室1・2ともにご覧いただけます。																																																												
	アート ギャラリー	福田繁雄の視覚トリック展 ～8月20日(日)																																																												
	追悼 松本俊夫(1932-2017) 映像の反現実的・幻想的・魔術的な表現 を求めて ～8月20日(日)																																																													
高津市民館市民ギャラリー<高津区> 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		萌の会 日本画作品展 8月4日(金)～9日(水)												カメカメ元気会 元気な子ども展 8月18日(金)～23日(水)※21日休館						彩会展 8月25日(金)～30日(水)																																										
宮前市民館市民ギャラリー<宮前区> 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		川崎市に残っている 江戸時代の古文書展 ～8月2日(水)			宮前障がい者施設作業所等 連絡会展示室 8月5日(土)～9日(水)					宮前区 老人クラブ連合会 趣味の作品展 8月11日(金・祝)～16日(水)					夏休み子どもあそびランド 2017 8月20日(日)					第19回 響け!みやまえ太鼓ミーティング 8月26日(土)																																										
多摩市民館市民ギャラリー<多摩区> 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		クールシェア推進事業 ～9月6日(水)※21日休館																																																												
川崎市岡本太郎美術館<多摩区> 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)	企画展	●有料 企画展「岡本太郎と遊ぶ」展 ～10月15日(日) 観覧料：一般900円、高・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料																																																												
	常設展	●有料 常設展「岡本太郎と巴里」展 観覧料：～10月15日(日)／一般900円、高・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料※企画展と常設展のセット料金です。 ～10月22日(日) 10月17日(火)～22日(日)／一般 50 0円、高・大学生・65歳以上300円、中学生以下無料																																																												
麻生市民館市民ギャラリー<麻生区> 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		木鳥と焼絵 ～8月2日(水)			イリスの会展 8月4日(金)～9日(水)										おやじ考作品展 8月18日(金)～23日(水)※21日休館					アトリエさんぽく展 8月25日(金)～30日(水)																																										

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

7月22日・29日、8月5日・12日・19日の土曜日は19時まで開館!

企画展／開催中～8月20日(日)

からくりトリックの世界

- 「服部正志 トリック3Dアート」展(企画展示室1)
- 「高橋みのる 現代からくりアート」展(企画展示室2)

- 観覧料:一般500円(400円)、65歳以上・大学生・高校生400円(300円)、中学生以下無料()内は20名以上の団体料金 ※上記料金で企画展示室1・2ともにご覧いただけます。

夏休み特別企画!

触って、入って、体験する
「からくりトリックの世界」へ
ようこそ!

等身大の飛び出すグラフィック
アートの中に入って写真を撮ったり、
大小さまざまな木製のからくり玩具に触れて遊んだり…。
大人から子どもまで一緒に楽しめる企画展です!



同時開催／開催中～8月20日(日)

観覧料:無料

◆福田繁雄の視覚トリック展

1F アートギャラリー-3

★学芸員によるギャラリートーク

日時／8月19日(土)14:00～

◆追悼 松本俊夫(1932-2017)

映像の反現実的・幻想的・
魔術的な表現を求めて

1F アートギャラリー-2

★学芸員によるギャラリートーク 日時／7月30日(日)14:00～

福田繁雄
《LOOK1-15人のアーティスト展》
1985年、103×72.8cm



映画上映

■映画で見る平和への願い

- 日 程:8月5日(土)～8月20日(日)の土日祝
- 料 金:1プログラムにつき
一般600円／65歳以上・大学生・高校生500円／小中学生400円
(未就学児、障害者手帳をお持ちの方及びその介護者無料)

【上映作品・スケジュール】

- 『この世界の片隅に』
8月5日(土)11:30～／14:30～、
6日(日)・13日(日)各日11:30～
- 2本立て
[1]『平和記念都市ひろしま』+ [2]『原爆の子』
8月6日(日)14:30～、19日(土)11:30～
- 2本立て [1]『生きていてよかった』+ [2]『千羽鶴』
8月12日(土)11:30～
- 『河 あゝの裏切りが重く』 8月13日(日)・19日(土)各日14:30～
- 『硫黄島』 8月11日(金・祝)11:30～、20日(日)14:30～
- 『最後の女たち』 8月11日(金・祝)14:30～、20日(日)11:30～
- 2本立て [1]『煙突屋ペロー』+ [2]『時計は生きていた』
8月12日(土)14:30～



©この世界の片隅に・双葉社／
「この世界の片隅に」製作委員会

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅南口側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】毎週月曜日(7月17日は開館)、7月18日(火)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～10月22日(日)

「岡本太郎と巴里」展

岡本太郎にとって、フランスのパリ市は重要な都市の1つでした。1930年から1940年まで過ごしたパリで、世界中から集まった芸術家たちに揉まれながら、岡本は独自の個性を確立しました。そのため、秘書であり養女となった岡本敏子は、「岡本太郎は、戦前のパリで『岡本太郎』になった」と述べています。

また、小説家であった母・岡本かの子の小説『巴里祭』の増刷版(1941年刊)のために、装丁画として、パリの風景画も描いています。

本展では、岡本太郎のパリでの活躍を中心に展示構成し、東京とはちがった、パリでの「岡本太郎」をご紹介します。



岡本太郎《森の鏡》1950年

企画展／開催中～10月15日(日)

「岡本太郎と遊ぶ」展

岡本太郎は「遊び」について、『遊び』と『お遊び』とは全然違う。『遊び』は真剣な、全人間的な、つまり命のすべてをぶつけての無償の行為だ。」と言っています。

岡本にとって「遊び」とは、自分自身の芸術活動そのものだったともいえるでしょう。岡本が命のすべてをぶつけて生み出した作品と、その作品に向き合う私たちも、真剣に遊んでみませんか。

本展では、「岡本太郎と遊ぶ」をキーワードに、岡本の作品を紹介するとともに、体のさまざまな感覚をつかって作品を感じる展示やイベントを行います。



「岡本太郎と遊ぶ」展がスター

展覧会料金等

観覧料／一般900(720)円、高・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料()内は20名以上の団体料金
休館日／月曜日(9月18日、10月9日を除く)、9月19日(火)、10月10日(火)

◆関連イベント

においで遊ぶ

- 内容:太郎が描いた「遊ぶ」をさまざまな「におい」から想像してみよう。
- 日時:8月6日(日)13:30～15:30(受付13:00)
- 講師:井上尚子(美術作家)
- 対象:4歳以上(10歳までは保護者同伴) ●定員:20名
- 場所:企画展示室、創作アトリエ ●料金:無料(要観覧料)
- 申し込み:電話での受付(7月19日10:00から受付開始。先着順)



回遊美術館での展示風景

爆発的な詩と漫画に挑戦!

- 内容:太郎の作品を感じてことばを生み出し、爆発的な詩をつくります。できた詩のイメージを漫画にしてみましょう。
- 日時:8月11日(金・祝)10:00～15:00
- 講師:田中庸介(詩人)、横山裕一(漫画家/美術家)
- 対象:15歳以上 ●定員:30名 ●場所:創作アトリエ、企画展示室
- 料金:1,000円(要観覧料)
- 申し込み:電話での受付(7月26日10:00から受付開始。先着順)

◆その他のイベント

美術館探検ツアー

- 内容:見おとしがかったり素通りしてしまったりする作品や展示空間をみるツアーです。いつものとは違った角度から美術館をみることで新しい発見が!
- 日時:8月2日(水)13:30～15:00(受付13:20)
- 対象:小学4年～中学生 ●定員:20名 ●場所:常設展示室 他
- 料金:無料 ●申し込み:電話での受付(7月19日10:00から受付開始。先着順)

「夏休みの宿題伝えます」ツアー

- 内容:美術館見学が夏休みの課題として出されている中学生の皆さんへ、一緒に作品をみたり太郎の思いや考えにふれたりしてみませんか。
- 日時:8月22日(火)、23日(水) 各日10:00～11:00
- 対象:中学生 ●場所:常設展示室、企画展示室 ●料金:無料
- 申し込み:不要。当日10:00までにエントランスにお越しください。

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】月曜日(7月17日、9月18日、10月9日を除く)、7月18日(火)、9月19日(火)、10月10日(火)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



アルテリオ小劇場

第53回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

神田紫が怪談「番町皿屋敷」を披露！

日本三大怪談の一つで、「一枚、二枚…」と皿を数える台詞でお馴染みの名作「番町皿屋敷」に女流講談師・神田紫が挑む。

「皿屋敷」を元にした怪談話は全国各地にあり、その土地によって物語が少し異なる。「番町皿屋敷」は、江戸の番町(千代田区)を舞台とし、播州(兵庫県南西部)を舞台にした「播州皿屋敷」を元に岡本綺堂が大正5年に創作した作品。

2017年8月26日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】神田 紫、桂米多朗、昔昔亭A太郎、春風亭昇市

【チケット】一般2,000円／学生1,000円(全席自由・税込) ※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。



神田 紫



桂米多朗

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。お一人で毎月通うも、お連れ様と一緒でもお使い頂けます。

●プレミアムセット:4枚1組 6,000円 ●大旦那衆セット:10枚1組 12,000円

※有効期限は2018年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。

【お知らせ①】終演後、演者との交流会を開催します。嘶家たちとお話してみませんか。ご希望の方は公演当日受付にてお申込下さい。(1時間程度、参加費1,000円)

【お知らせ②】仲入りで演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

しんゆりジャズスクエアvol.30

ジャズ生誕100周年記念 豪華アンサンブルの世界



守屋純子



小山太郎



今野颯平



三上貴大



真野峻磨



ユーリック武蔵



中川颯子



ゲスト wayjo

2017年は、初めてジャズのレコードが録音されてから100周年の記念の年です。ジャズの魅力は、アドリブとアンサンブル。その両方をたっぷり楽しめる豪華な3管編成に、ヴォーカルナンバーも。昭和音楽大学の講師・OB・現役が総力を結集し、更にオーストラリアからミュージシャン達がゲスト参加!

〈予定曲〉Take The A Train、Moon River、Fascinating Rhythm、The Entertainer ほか

2017年9月29日(金) 19:00 ※開場は開演の30分前

【出演者】守屋純子(P)、小山太郎(Ds)、今野颯平(B)、三上貴大(Tp)、真野峻磨(Sx)、ユーリック武蔵(Vo)、中川颯子(Sx)、ゲスト:wayjo

【チケット】3,500円(全席自由・税込) 2枚セット券:6,000円／4枚セット券:10,000円

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ:川崎市アートセンター TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>



チケット取扱い:川崎市アートセンター

[tel] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

●ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。

044-954-9990(月~金、10:00~18:00)

●学生券は窓口のみ取扱い。要学生証提示。 ●セット券は窓口とお電話のみ取扱い。



ありがとう、 トニ・エルドマン



Maren Ade interview

マーレン・アデ監督インタビュー

—この映画は、何かが終わることに関する映画でもありますね。

親と子供の関係は、別れに満ちています。子供にとって何か新しいことが始まる時、親にとってそれは何かの終わりです。私は息子に関してそれを経験しているところです。息子は1センチ背が伸びる度にワクワクしていますが、私は物思いにふけてしまいます。だからこの映画にも一連の別れを入れたのです。ヴィンフリートの生徒が去る、飼い犬が死ぬ、そして彼と娘は何度もお別れを言うのに、一度たりとも心温まるさよならをしたことがない。最後の抱擁は彼らにとって、そんなさよならの試みなのです。クケリの衣装がヴィンフリートを変えた。それでほんの一瞬、イネスにとって彼は子供の頃知っていた、大きくてよたよた歩く、心温かい父親に見え、彼女はかつてそうだった少女になれるのです。

(宣伝用プレスシートより抜粋、校正・文責=川崎市アートセンター 協力=ビタース・エンド)

About the film

作品について

2016年 | ドイツ、オーストリア | カラー | 2h42
監督・脚本: マーレン・アデ

出演: ペーター・ジモニシェック、ザンドラ・ヒュラー

●第69回カンヌ国際映画祭 国際批評家連盟賞

●2016年国際批評家連盟賞 年間グランプリ

悪ふざけが大好きな父とコンサルト会社で働く生真面目な娘の関係はぎくしゃくしていた。ある日、父は<トニ・エルドマン>という別人となって母国ドイツを離れ、グローバル企業で働く娘の前に現れる…。今ひとつ噛み合わない父と娘の普遍的な関係を、温かさで冷静な視線をあわせ持った絶妙のユーモアで描く。世界中の映画祭、映画賞で絶賛された話題作。

8.5-8.18



オケ老人！

2016 | 日本 | カラー | 1h59

監督・脚本：細川徹

主演：杏、笹野高史、坂口健太郎、光石研

8.5-8.11

趣味でバイオリンを弾く高校教師・千鶴は、地元の市民オーケストラに入団するが、そこは彼女が聞きほれた楽団ではなく、曲の完奏もままならない老人だけのオーケストラだった。情にほだされた千鶴は、楽団を何とかしようと立ち上がるのだが…。杏初主演のコメディ。



ローマ法王になる日まで

2015 | イタリア | カラー | 1h53

監督：ダニエーレ・ルケッティ

主演：ロドリゴ・デ・ラ・セルナ、セルヒオ・エルナンデス

7.29-8.11

2013年、新たな法王に選ばれたフランシスコの若き日を描く。1973年、35歳の若さでイエズス会のアルゼンチン管区長になった彼は、3万人が失踪した軍政下の白色テロと対峙することになる。ラテンアメリカに誕生した“解放の神学”に並走したひとりの聖職者の肖像。



裁き

2014 | インド | カラー | 1h56

監督・脚本：チャイタニヤ・タームハネー

出演：ヴィラー・サートィダル、ヴィヴェーク・ゴーンバル

8.12-8.25

年輩の民謡歌手が扇動的な歌を歌ったとして不条理にも逮捕される。彼の裁判とその裁判に関わる登場人物たちの私生活を描きながら、様々な階級、宗教、言語、民族で成り立つ複雑な社会環境のインドの現在に鋭い洞察力で切り込んだ異色の法廷劇。監督はインド新世代の旗手、チャイタニヤ・タームハネー。



ボンジュール、アン

2016 | アメリカ | カラー | 1h32

監督・脚本：エレノア・コッポラ

出演：ダイアン・レイン、アルノー・ヴィアール、アレック・ボールドウィン

8.12-8.25

有名な映画プロデューサーの夫を持つ主人公アン。子育てなど人生に一区切りがついたある日、夫の仕事仲間のフランス人ジャックとカンヌからパリへ向かうことになり、次第に“忘れていた自分”を見つけてゆく…。監督・脚本はフランシス・フォード・コッポラの妻エレノア・コッポラ。



歓びのトスカーナ

2016 | イタリア、フランス | カラー | 1h56

監督・共同脚本：パオロ・ヴィルズィ

出演：ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ、ミカエラ・ラマツォットティ

8.12-8.25

まばゆい陽光が降り注ぐイタリア・トスカーナ地方にある診療施設でルームメイトになったふたりの女性はある日、施設をひょっこり抜け出す。行き当たりばったりの旅路の中で、“ほんの少しの幸せ”を探しながら、深められてゆくふたりの友情を描いた女性たちの人生賛歌。



アンコール上映！ この世界の片隅に

2016年 | 日本 | カラー | 2h05

監督・脚本：片淵須直 原作：こうの史代

声の出演：のん、細谷佳正、潘めぐみ

8.19-8.25

昭和19年、広島から呉に嫁入りした18歳のすず。呉の軍港には戦艦大和が停泊し、夫は文官として海軍に勤務する。やがて呉は空襲の標的となる。戦時下の庶民の暮らしを丹念に紡いだリアリズムと、ファンタジックな夢が交錯する傑作。

映画タイムマシン vol.5

8.5 sat - 8.11 fri 10:00 の回 (月曜休映)

小津安二郎監督の『東京の合唱』、林芙美子原作の『泣虫小僧』、宮沢賢治原作の『風の又三郎』を上映します。

8.6(日)と10(木)は柳下美恵さんのピアノ演奏つき。



東京の合唱

監督：小津安二郎

▼ 8.6(日)、8.10(木)

主催：川崎市アートセンター 共催：チャイルド・フィルム、芸術文化振興基金助成事業



泣虫小僧

監督：豊田四郎

▼ 8.5(土)、8.9(水)



風の又三郎

監督：島耕二

▼ 8.8(火)、8.11(金・祝)

サイレント映画ピアニスト

柳下美恵さんの

おすすめポイント

『東京の合唱』は主人公岡島の明るさ、優しさ、せつなさ、勇気に注目！

学生時代にお金なくて下着を買えず、ふてくされて座って空を見上げるシーン。サラリーマン時代に社員の代わりに社長とたたかうシーン。

娘の病気で病室で息子と絵本を読んでいるシーンと帰りに見た花火。

病院代を払うため着るものがなくなったけど家族で明るく歌うシーン、先生を勇気づけるために開いた同級会で皆と歌うシーンは大好きです。

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1 | Tel. 044-955-0107 | Fax. 044-959-2200 | info@kawasaki-ac.jp
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分 ◆映画のチケットは9:00より受付にて販売 ◆自由席、整理番号順入場、立見不可

毎月

第三火曜日
のお楽しみ
2017

ラゾーナ寄席

第62回

8月15日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…桂藤兵衛・初音家左橋・柳家ほたる・春風亭一猿

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



桂藤兵衛

能「鶺鴒」九世観世鍬之丞
撮影：駒井荘介

能「清経」鶴澤 光
撮影：前島吉裕

能と狂言

第二二回 川崎市定期能

第一部

狂言

昆布売

【こぶり】

竹山 悠樹(和泉流)

能

清経

【きよつね】

観世鍬之丞(観世流鍬仙会)

12時30分開場
13時00分開演

◆平成29年9月9日(土)

◆会場：川崎能楽堂

◆入場料：各部4,000円
(全席指定) U25 3,000円

※臨正面・中正面エリアのみ鑑別可・25歳以下の方、購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

第二部

狂言

因幡堂

【いなばどう】

野村 太一郎(和泉流)

能

鶺鴒

【うかい】

鶺鴒 久(観世流鍬仙会)

15時00分開場
15時30分開演

◆チケット発売日／平成29年8月2日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順) *残券があれば、同日正午より電話でも販売いたします。

◆チケット取扱・お問合せ／川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

◆受付時間／窓口・電話 9:00～17:00 *但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

主催：(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年8月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311